
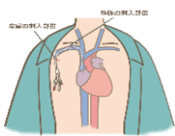

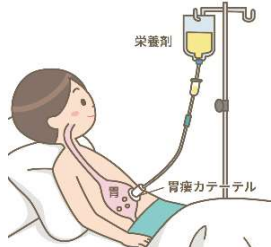






# 延命治療ってどんなことがあるの？編

	どんなことをやるの？	長所	短所
点滴	水分や少量の栄養を手足の静脈から入れます。皮下に入れる場合もあります。	①比較的簡単に始めることができる 	①生命維持に必要な栄養を入れることはできない ②むくみの原因となる場合がある ③血管がもろくなっていると何度も差し直しをしなければならないので苦痛をとともなうこともある
中心静脈栄養法	身体の深いところにある静脈(鎖骨の下、首、足の付け根)から心臓に近いところまで専用の管(カテーテル)をいれて、点滴よりも高い栄養を入れます。	①状態が良い場合生命に必要な水分と栄養を入れることができる ②感染などがみられなければ、カテーテルは数か月間使用できるので差し替えの負担は少ない 	①カテーテルを入れる技術が必要入れた場所を清潔に保つ必要がある ②管につながれて過ごすことになる ③入浴前には清潔に保つ処置が必要になる ④老衰や病気(がんなど)の終末期の場合、むくみなど身体の負担になる
経鼻経管栄養法	細い管を鼻から胃までとおし、流動食や水分・薬を入れます。 	①口から食べれなくなった時、比較的簡単に始めることができる。 ②状況によっては長く生命を維持できる。	①管がのどを通っている違和感や不快感がある ②飲み込みの練習ができにくく、口も乾きやすい ③鼻の中のはい菌が奥に運ばれて、熱・咳・痰などの原因になることがある。 ④管による圧迫で皮膚や粘膜に潰瘍が出来ることがある。
胃ろう	胃カメラなどの手術でおなかに小さな穴を開け、器具を取り付け、その器具から胃に直接流動食や水分・薬を入れます。 	①生命に必要な栄養や水分を入れることができる ②食事と同じような栄養を入れることができるので体力回復につながりやすい ③状態によって飲み込みの練習ができる。食べることができるようになる場合もある。 ④病気によっては長く生命を維持できる。	①口から食べることを禁止された場合食べる楽しみがなくなる。 ②おなかに開けた穴のまわりがただれることがある。 ③下痢や嘔吐をする場合がある。 ④老衰や認知症の最終段階の場合は胃ろうから栄養を入れても生命の維持は難しい。 ⑤胃ろうの手術は負担が比較的少ないが、病状を悪化させる場合もある
 心臓マッサージ・AED	止まってしまった心臓を人の手で圧迫マッサージをすることで、AEDは機器を用いて電気ショックで心臓に刺激を与えるものです。	①講習を受けたりしていれば簡単に始めることができる ②AEDはAEDがあれば誰でも使うことができる 	①一時的な方法である ②心臓マッサージは知識と技術が必要である ③骨折れたり内臓を傷つけてしまうことがある(高齢者は特に)

	どんなことをやるの？	長所	短所
人工呼吸器	<p>機械の力で呼吸を助ける方法です。回復するまでの一時使用や装着しながら生活できる人にとっては大切なものです。自分で呼吸する力がない＝呼吸能力の回復の見こみがない場合、装着するかどうか判断が問われます。現在の日本では装着されると取り外すことは法律的に完全に認められていません。</p> <p>一時的には鼻や口から気管まで管を入れて人工呼吸器につなぎ、長く使用する場合はのどを切開して気管に穴を開けそこに管をいれて呼吸器とつなぎます。</p>	<p>①自分で呼吸できなくても機械の力で生き続けることができる</p> 	<p>①鼻や口から管を入れる場合苦痛を伴うので痛み止め等の薬を使用する ②自分で口から食べ物を食べることはできなくなる場合がほとんど ③病状が安定した場合、病院によっては退院・転院をすすめられたりするが、転院先も限られることが多い ④在宅で過ごすことになる場合は呼吸器の取扱いや吸引・排泄などのケア技術の指導を受けたり、利用できるサービスの調整が必要。費用の負担も考えておく必要がある</p>
輸血	<p>ケガなどによる大量出血や、病気や薬などの影響で減少してしまった血液の成分を、回復するまでの間を一時的に補う方法です。点滴と同じ方法で行います。</p>	<p>①立ちくらみ、息切れ、めまい、ふらつき、頭痛、胸の痛み、どうき、疲労感などの症状の改善が期待できる</p>	<p>①医療機関によっては実施出来なかったり、実施まで時間がかかる場合がある。 ②副作用(じんましん・発熱・呼吸困難や血圧の変動)や感染症が起こることがある</p>
血液透析	<p>腎臓の機能の低下によりできなくなった腎臓の機能の一部(身体にたまった老廃物や余分な水分を取り除く)を代わりに機械に行ってもらい、生命を維持する方法です。</p>	<p>①血液中の余分な物質が効率よく除去できる</p> 	<p>①身体に管を入れる必要がある ②持続的に行う場合腕にシャントと呼ばれる手術を受ける ③定期的に行う必要があるため時間的拘束や食事制限など制約が大きい</p>
血圧を上げる薬や心臓を動かす薬の使用	<p>血圧を上げたり、心臓を動かす薬を静脈から入れることにより効果を期待します。</p>	<p>①薬の効果があれば、状態が改善する</p>	<p>①根本的な治療ではない ②状態によっては効果が期待できない場合がある</p>
自然にゆだねる人工的な栄養・水分補給は行わない	<p>身体の機能が弱り、食べたり、飲んだりできなくなっても、人工的な栄養や水分の補給を受けずに、人生の最終段階を過ごします。</p>	<p>①身体が栄養や水分を吸収できないため、なにもしないことで身体に負担がかからない ②身体機能が弱ると栄養を必要としなくなるので、つらさは感じないといわれている ③脳内で痛みを和らげる物質が出されることで、かえって病状は楽になることが多い ④身体が変にむくんでしまったり、床ずれが起きたりすることが少ない</p>	<p>①本人がやせ細っていくのをただ看ているのは、家族にとってつらいと感じたり、何もしなかったと思ってしまう場合がある</p>